

ホタテ由来のコロナ対策水



東京都では、新型コロナウイルスの新規感染者数がようやく減少傾向を見せるようになった。とはいえ、ワクチン接種をはじめ、私たちはさらなる自己防衛を心掛けるしかない。そんな中、ある論文が発表された。コロナ対策につながるその「水」の正体とは――。



開発秘話



このような問題を解決したのが、自然由来で有害物質を一切含まない高濃度カルシウムイオン水の開発だったという。

1995年の地下鉄サリン事件以降、2001年の米国炭そ菌事件などが起きたことで、防衛省が除染剤の開発を手がけるのは理解できる。しかし、青森のベンチャー企業が加わったのはなぜか。もう一人の執筆者である沢田氏がこう語る。

「当初、発達障害の子どものために何かできないかと研究を始めました。発達障害に影響があるのは、環境ホルモンやダイオキシンで、それを防ぐには酸化カルシウムが役立つという文献にたどり着いた」
その酸化カルシウムは沢

防衛技術の専門情報誌

「防衛技術ジャーナル」8月号の「防衛医学最先端」というコーナーで9ページにおよぶ論文が掲載された。タイトルは「新型コロナウイルス対応の洗浄・除菌剤として防衛医科大学校からの派遣衛生活動で使われている貝殻焼成酸化カルシウムイオン水

「防衛技術ジャーナル」8月号の「防衛医学最先端」というコーナーで9ページにおよぶ論文が掲載された。タイトルは「新型コロナウイルス対応の洗浄・除菌剤として防衛医科大学校からの派遣衛生活動で使われている貝殻焼成酸化カルシウムイオン水

というの。化学の世界ではあり得ない話でした。しかし、ナノ（10億分の1）レベルで生成された粉体が、純粋に溶けて強アルカリ性高濃度カルシウムイオン水になった。しかも、化学物質や不純物は一切入っていない。さまざまな実験で人体への影響がないことも証明されました」（石原氏）

「当初、発達障害の子どものために何かできないかと研究を始めました。発達障害に影響があるのは、環境ホルモンやダイオキシンで、それを防ぐには酸化カルシウムが役立つという文献にたどり着いた」
その酸化カルシウムは沢



田氏の身近なところにあった。青森の特産物、ホタテ貝だ。貝殻を高温焼成すると、酸化カルシウムの粉体になるのだ。

「貝殻は、産業廃棄物として問題視されていました。そのため焼却処分しますが、コストがかかる。これを活用できないかと思い、14年から研究を重ねてきました」（沢田氏）

不純物や人工的につくった化学物質が入っていない酸化カルシウムは、殺菌や防菌に役立つが、水に溶けない。粉体と水が分離してしまうのだ。試行錯誤を繰り返して、水に溶かすことに成功し、沢田氏が当時、防衛医科大の教授だった石原氏に実証実験を頼んだ。

畜産施設の洗浄、消臭にも効果

防衛医学の面から見ても、細菌や化学兵器などに侵された現場で、除菌は必須だ。

防衛服の装着、脱着にも細心の注意を払うが、それとともに手指などの消毒作業は欠かせない。化学物質が入っていない水が防菌、除菌効果があるとすれば、防衛関係者が待ち望んでいたものだといえる。

こうして誕生した「ビ水」が、このタイミングで新型コロナウイルスの感染拡大

が起きた。

20年2月、乗員乗客3711人を乗せたクルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」で新型コロナウイルスのクラスターが発生。感染者は合計712人に及んだ。その対応に防衛医科大から医官が派遣されたが感染者はゼロだったといい、その影の立役者が「ビ水」だったというのだ。

「防護服の除染や手指の消毒など、自衛隊の医官たち

は「ビ水」を使用した成果を、青森県七戸町の田原ファームの田原博文社長はこう語る。「「ビ水」を使用し、洗浄・除菌に加え、家畜のカルシウム補強剤としても効果を発揮しています。さらに、マイコプラズマ肺炎に罹った子牛も1日で症状が改善されました」
沢田氏は語る。

「まず自衛隊に安定供給することを優先していたため、一般市場には出せなかった。ようやく昨年末に新工場ができ、一般にも出せる体制が整ったので、やっと発表させていただいた」
しかも、ビ水は、除菌や防菌作用だけに止まらない。「消臭にも高い効果があり、畜産の現場や船内の洗浄などで活用してもらっています」（沢田氏）

畜産施設では、洗浄、家畜や汚物の消臭、感染予防などが問題視されている。

「ホタテ貝という自然由来の製品なので、人にも地球環境にも優しく安全な水。それでいて、さまざまな病原菌などを無害化し、自然浄化を促します」
しかし、今後の問題は価格だろう。現在、ネットなどで販売されているが、300リットルで2695円。庶民にはやや高額といえる。目に見えないウイルスに翻弄された1年9カ月、さまざまな対策グッズが開発販売されてきたが、ビ水が「コロナ撃退のカギ」となるか。

本誌・山田厚俊